

講演会

学校統廃合を止めた保護者、子ども、住民の力 ー米国シカゴ市の取り組みからー

町田市未来づくり研究所は、企業立地が町田活性化に重要だとして、学校統廃合による土地確保をうたっています。

未来を担う子どもたちよりも、「稼ぐ町田」の方が重要だという考えから、2040年までに、小中学校の3分の1を減らす計画を推進中です。

米国は、日本よりも先に学校の統廃合が進められて来ました。シカゴ市では、その学校統廃合に保護者・子ども・住民が立ち上がりました。そして、ついに学校統廃合を止めたのです。

今回の講演会では、山本先生のお話をお聞きする他に、現地とリモートでつないで、シカゴ市の保護者のお話もお聞きします。

町田市の学校統廃合を止めるための参考になると思います。みなさんの参加をお待ちしております。



講師紹介

山本由美 和光大学名誉教授
横浜国立大学教育学部教育学科、東京大学大学院教育学研究科教育行政学専攻修士課程を経て、同博士課程満期退学。2010年度から和光大学の教員、2025年3月退官。2019年から東京自治問題研究所理事長。著書『学力テスト体制とは何か～学力テスト・学校統廃合・小中一貫教育～』花伝社、『教育改革はアメリカの失敗を追いかける』花伝社。共編著書『新自由主義教育改革』大月書店。

日時 2026. 9. 27(日)

開場 13:10 開会 13:30

閉会 16:30

会場 町田市民ホール第4会議室

資料代 500円

駐車場 市役所の駐車場が便利です。

主催 地方自治を学ぶ町田の会
siseiken2023@gmail.com

共催 本町田地区小学校の存続を求める会
honmachida@hope.nifty.jp

鈴木大裕さんの講演会 7月22日(土) 於北杜市

「崩壊するアメリカの公教育」(岩波書店)「崩壊する日本の公教育」(集英社新書)で一躍有名になった鈴木大裕さんの講演会が8月22日(土)に山梨県韮崎市で開かれると聞いたので、出かけてみました。

鈴木大裕さんは、千葉県生まれ、中学校の英語の先生を経験した後、アメリカのスタンフォード大学に留学、家族とともにアメリカのニューヨーク市に住み、我が子を公立小学校に入学させた経験から、アメリカの公教育の実態を「崩壊するアメリカの公教育」に書かれました。このアメリカの現実、日本の10年後の公教育だと思います。その先鞭をとるのが、町田の学校統廃合に伴う様々な政策だと考えると、どうしても鈴木大裕さんの講演を聴きたいと思いました。



新自由主義の学校では、企業が公教育をターゲットにして、あらゆる領域で利益を追求していきます。アメリカの公教育では、このような利潤追求の学校になっているのです。

- ・ 国家の責任で市場化による公立学校の序列化と教育格差の拡大。全てを「自己責任」に転嫁する。社会的な不平等をないものにして、「頑張れば報われる!」「貧しい人はがんばりが足りないからだ。」と考えるようにしむける。

- ・ 市場型学校選択制を導入して、「あたり」と「はずれ」を作り、富裕層の子どもは「あたり」の学校に行き、子どもが少なくなった「はずれ」の学校は廃校にする。

- ・ 「カリスマ教師」を作り、その教師の動画を流し、「はずれ」の学校ではそれを使って格安 AI 教育(動画による教育)をする。「あたり」の学校では、優秀な教師を雇い、全人教育をする。

このように、教育は市場における商品と考えられ、教育委員会は、カスタマーサービスをする機関となり、子どもと保護者はカスタマー(お客さん)と考えられるようになっています。

町田市でも、似たようなことが行われつつあります。このアメリカの学校を追いかけて行っているようです。

- ・ 学校を統廃合し、子どもの数が少ない学校は廃校にする。
- ・ 市内全ての学校を「地域活用型学校」にし、企業が学校を使えるようにする。
- ・ 部活動を地域展開する企業のスポーツチームなどに移行する。
- ・ 水泳の授業は数時間しか行われず、泳げるようになるためには、スイミングスクールに行かなければならない。夏休み中のプールも図師のプールしか使えない。

いずれにしても、お金がある家の子どもは希望の教育を受けることができ、お金がなければ受けられないことになります。

教育を受ける権利は、子どもたちの人権です。学校を利潤追求の場にしてはならない!と思いました。

(遠山)

今後の予定 場所は市民ホール第4会議室

- 9月27日(日) 学校統廃合を止めた保護者・子ども・住民の力 講師 山本由美氏
- 10月25日(日) 市民の声を聴く町田市政をめざす会総会
- 12月20日(日) ひきこもり・不登校の理解と対応を考える 講師 小林幸弘氏